

第 16 回厚生文教常任委員会会議記録

開 閉 会 日 時	令和 7 年 2 月 20 日 (木曜)		午後 1 時 30 分 開会	
	休 憩 13:40-41 13:54-55 14:09-10 14:16-19			
			午後 2 時 21 分 閉会	
	休憩時間：0 時間 0 6 分		会議時間：0 時間 4 5 分	
会議場所	3階委員会室			
14:50 出席委員 氏 名	委員長	中村 和宏	委 員	立川 美穂
	副委員長	中田智恵子	委 員	堀切 忠
	委 員	鈴木 健充	委 員	小笠原 等
	委 員	早苗 豊	委 員	伊藤 稔
			議 長	梶澤 幸治
説 明 員	公立芽室病院事務長	石田 哲	健康福祉課長	森 真由美
	事務長補佐	篠田 潤一	障がい福祉係長	橋本 岳
	総務係長	佐藤 文彦		
	経営企画係長	杉本 康次		
参 考 人				
欠 席 委 員 氏 名				
事務局職員	事務局長 安田 敦史	総務係主査 上田瑞紀		
<p>『会議に付した事件と会議結果など』</p> <p>1 開 会 委員長が開会を告げ、事務局から本日の委員会の日程を説明する。</p> <p>2 議 件 (1) 調査事項 ア 公立芽室病院の経営状況（令和6年度第3四半期）について 資料1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務長：事業概要説明。資料訂正のお詫びと説明<資料1：P1（第3四半期決算状況中「4：病床利用率」の訂正）>。担当職員から資料説明する旨を告げる。 ・総務係長：資料説明（「四半期決算状況」）。 ・事務長補佐：資料説明（「診療科別（入院・外来）前年対比」「診療科別（月別）入院状況」「診療科別（月別）外来状況」） ・事務長：収益は上がっているが、この時点では減価償却費は含まれておらず、最終的には2億円ほどの赤字が見込まれることを補足する。 ・堀切委員：新得町におけるクリニックの閉鎖にかかる影響をどのように考えているのか？ ・事務長：報道等で情報は認識しているが、具体的に言及できる状況ではない。 ・堀切委員：マイナンバーカードの利用数は？ ・経営企画係長：11月分までの診察分は36%の利用。 				

- ・堀切委員：12月以降の窓口での混乱等はないか？
- ・経営企画係長：大きな混乱はない。
- ・立川委員：訪問看護に係る実績が前期比較で30%増と説明があったが、職員体制に課題はないのか？
- ・事務長：担当スタッフの努力による実績と分析している。今後に向けては、訪問看護のスタッフ体制については、現状で何とか維持できるが、訪問リハビリは、すでにオーバーフローしており、人員強化を考えている。
- ・鈴木委員：今期の決算において、コロナ等に対する影響をどのように考えているのか？
- ・事務長：年末年始における感染症の拡大があり、患者増につながった影響はある。
- ・早苗委員：総論として、現行改革プランに基づく経営手法は適正とみなしているようだが、コロナ等の影響がなくなり、いわゆる通常期に戻った時の経営プランについて、どのような展望を持っているのか？
- ・事務長：公立病院の経営において、全国的な先進事例も参考にしながら、適宜的確な経営に柔軟に対応していくことを念頭に置いて、引き続き検討していきたい。
- ・早苗委員：昨今の物価上昇分も加味された経営プランとみなしてよいか？
- ・事務長：人件費及び物価高騰については、想定外の要素である。ただ、現時点で特効薬的な対応策を見出しているとは言えず、先ほど申し上げたように様々な情報を調査・研究しながら経営の安定化を目指していきたい。
- ・委員長：意見・質疑はないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：以上で、調査事項「ア」の調査を終了する。

イ 基幹相談支援センターの設置について 資料2

- ・健康福祉課長：事業概要説明。担当職員から資料説明する旨を告げる。
- ・障がい福祉係長：資料説明（事業概要、役割、設置方法、委託期間、設置時期、設置場所、利用対象者、職員体制、周知方法等）
- ・委員長：意見・質疑はないか？
- ・立川委員：町外の社会福祉法人に委託したようだが、町内在住の障がいをお持ちの関係者との日ごろからの関係性が重要と考える。関係性の構築に支障はないのか？
- ・課長：委託先に障がい福祉事業の実績はないが、資格を有する職員配置等の諸条件を満たす要素はある。広く十勝管内を見渡しても、障がい福祉事業の展開実績のある法人は少なく、今後に向けて発展していく可能性のある分野と解している。地道にケースごとに関係性を構築していくような積み上げにより、事業の定着を図ってきたい。
- ・立川委員：事業者と関係団体（障がいを持っている子どもの保護者等）等との協議及び関係構築はどのようになっているのか？
- ・課長：関係団体等に対しては、直接、委託先との接点を持てるように、町として丁寧に対応していきたいと考えている。
- ・早苗委員：住民向けちらしの広報手法について、「電話・FAX・窓口で相談してくだ

さい。」というのではなく、現代に相応しい手法にシフトしていくべきでないのか？

- ・課長：SNSの活用も視野に入れつつ、障がい者の方から寄せられる多様な相談を、当事者も町も有効・有益となるように、その手法については、検討を重ねていきたい。
- ・委員長；他にないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：以上で、調査事項「イ」の調査を終了する。

- ・委員長：自由討議を行う。最初に調査事項「ア」について、自由討議はないか？
- ・早苗委員：独立採算に向けた調査研究として、町からの繰り入れを十分注視していく必要がある。3月予算決算特別委員会での審査に向けて対応してはいかがか？
- ・委員長：継続調査することとし、調査事項「ア」の自由討議を終了する。

- ・委員長：次に調査事項「イ」について、自由討議はないか？
- ・立川委員：障がいをお持ちの関係団体に対して、「基幹相談支援センター」の情報を提供・共有するなどしてはいかがか？
- ・委員長：継続調査することとし、調査事項「イ」の自由討議を終了する。

- ・委員長：調査事項「ア」について、改めて確認したい。早苗委員からの自由討議を踏まえて、来る3月予算決算特別委員会の審査前に、委員会として勉強会のような場を設けることとしたい。なお、詳細は正副一任とさせていただきたい。異議ないか？
- ・（異議なし）
- ・委員長：決定する。

3 その他

- (1) 次回委員会の開催日程について
正副一任

- (2) その他
- ・委員長：議長からないか？
 - ・（なし）
 - ・委員長：事務局からないか？
 - ・（なし）

以上をもって、厚生文教常任委員会を終了する。

傍聴者数	一般者	0名	報道関係者	0名	議員	0名	合計	0名
------	-----	----	-------	----	----	----	----	----

令和7年2月20日

厚生文教常任委員会委員長 中 村 和 宏